



簡単に安全な施工 ルネサスコート

林 孝幸 はやし たかゆき

樹脂材料事業部 第一建工株式会社 課長
075-326-7405 thayashi@dks-web.co.jp

1. インフラ整備と維持管理

道路や上下水道などの社会資本整備は、わが国の近代国家形成や経済成長を支える重要な役割を担ってきました。高速道路網整備や新幹線鉄道整備などの社会資本整備が国家的事業として実施され、国民生活を根底から支えています。

ビルや橋梁などのコンクリート構造物の耐用年数は、コンクリートのかぶり厚に比例します。1950年代半ば～70年代初頭、高度経済成長期に当時の建築基準で大量に建設されたわが国のコンクリート構造物の多くが50～60年とされる耐用年数に差し掛かり、リニューアルや更新の時期を迎えつつあります。今後、環境に配慮した解体、処分のあり方や維持管理がわが国の大きな課題となります。

一方、人々の生活が豊かになり、住環境に対する意識の高まりから、社会資本となる公共事業といえども工事環境の保全、とりわけ騒音、振動、粉塵や臭気などの周辺住民への配慮は必要不可欠となっています。

2. 第一建工(株)の役割

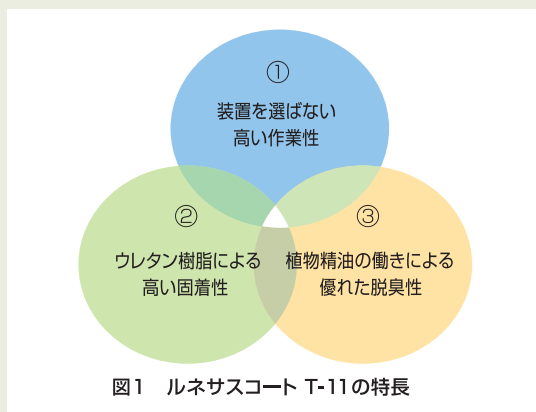
第一建工は、22年前の1989年に第一工業製薬の土木、建築用薬剤を販売する会社として設立されました。主な製品として、トンネル工事用地盤注入剤や建築防水剤、調泥剤があり、トンネル、マンション、ビルの建設時に幅広く使用されています。さらには、1995年の阪神淡路大震災で粉塵抑制剤として、固着性に優れた水系ウレタン樹脂を提供し、震災復興を支援しました。

3. 防塵脱臭剤 ルネサスコート T-11

今年3月、突然襲った東日本大震災で、津波による甚大な被害が発生しました。あらゆるものが津波にのみこまれ、一瞬にして瓦礫と化し、まさに国難ともいえるできごとです。今なお困難を極める復興作業には、悪臭と粉塵が大きな障害となっています。

第一工業製薬の関係会社、第一クリーンケミカル¹⁾は、2000年に東海地方を襲った集中豪雨による被害に対し

て周辺環境の臭気対策に産業用脱臭剤を提供しました。今日までの災害復興に対する実績を背景に、第一建工と第一クリーンケミカルが両社の知見と技術を集結し、復興工事の周辺環境改善をサポートする防塵脱臭剤ルネサスコート T-11を開発しました(図1)。



ルネサスコート T-11は、独自に開発した水系ウレタン樹脂と天然由来の植物性精油が主成分です。対象となる掘削土砂、堆積土砂、瓦礫などに噴霧機などを使って直接散布するだけで土砂粒子またはアスベストの飛散を抑制し、同時に糞便臭、腐敗臭などの悪臭抑制に効果を発揮します(表1)。また、公害対策基本法の規定に基づく土壌汚染に係る環境基準²⁾に定められた有害物質の含有量について、ルネサスコート T-11は、第三者機関による分析報告書を取得しており、高い安全性基準を満たしています。

第一建工は、今後も土木建築現場での薬剤開発を通じ、社会に貢献していきます。

	直 後	6日後
無散布	-3.3 (非常に不快)	-2.8 (非常に不快)
ルネサスコート T-11 散 布	-2.0 (不快)	-0.4 (快でも不快でもない)

表1 堆積土砂に対する臭気官能評価結果

参考文献

- 1) 第一クリーンケミカル(株)HP
- 2) 土壌汚染に係る環境基準について 環境省HP